

第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (令和5年3月改訂版)

(青梅市デジタル田園都市構想総合戦略)

○青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和5年3月改訂版)(以下「総合戦略」という。)は、青梅市人口ビジョンに掲げる目指すべき方向性や将来展望を踏まえ、青梅市ならではの地方創生を戦略的に実施するための計画です。

総合戦略では、基本目標における基本方向ごとに、第7次青梅市総合長期計画の関連施策を明示しています。これらの関連施策を展開することで、人口減少に対応しながら、基本目標や将来展望の実現など、市民が幸せを実感できる「Well Being (ウェルビーイング)」を目指します。

また、その関連施策ごとに、進捗状況等を確認するため重要業績評価指標(KPI)を設定しています。

なお、総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)第10条にもとづき、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」および都の「東京都総合戦略」を勘案し、策定しています。

○計画の終期

令和9(2027)年度までとします。

○基本目標

基本目標1

こどもを産み・育て、将来にわたり暮らし続けたいまちを実現

基本目標2

青梅に暮らし、働き、訪れる人々にとって魅力あふれるまちを創出

基本目標3

将来を見据えた、安全・安心なまちづくりを推進

○基本姿勢

「あそぼうよ！青梅」

青梅という魅力に満ち溢れた場所で暮らす人たちが、青梅に愛着を持ちながら、あそびを通じて地域とふれあうことで、そこから地域の課題に関心を抱き、まちづくりに加わっていただく流れを創り出していこうという姿勢と、青梅を訪れる方々が、自然豊かな青梅であそぶことによって、青梅の魅力を感じ、青梅ファンとなり、青梅とのかかわりを持ち続けていただきたいという姿勢を表しました。

○共通する視点

・デジタルの力を活用した地域課題解決

子育て、教育、産業、観光、自治体業務、防災、コミュニティなど、あらゆる地域課題の解決に向け、デジタルの力を活用していきます。

・ゼロカーボンシティの実現

ゼロカーボンシティの実現に向けて、再生可能エネルギーの活用や、省エネルギー化などを推進し、持続可能な社会の実現を目指します。

・多様性を認め合う地域社会づくり

性別や年齢、障がいの有無、国籍等に関わらず、一人ひとりの個性や価値観、文化等の違いを理解し、お互いが認め合いながら暮らしていくことができる地域社会づくりを推進します。

○総合戦略の評価・改善

総合戦略にもとづく施策の実施に当たっては、市民、産業界、教育機関(大学)、金融機関、労働団体、行政機関など多様な主体の参画、連携、協働によりこれらを推進し、毎年度、進捗状況の評価・検証を行います。

評価・検証においては、重要業績評価指標(KPI)の他、個別計画ごとに定める目標や、各施策の実施状況を捉え、各事業の見直し等を行うとともに、必要に応じて新たな事業を加えるなどの改善を行います。

○基本目標と具体的な施策展開

基本目標Ⅰ

こどもを産み・育て、将来にわたり暮らし続けたいまちを実現

子育てしたい方が、こどもを産み育てることを選択でき、安心して子育てし続けられる環境づくりのために、子育てに関する相談支援体制や保育環境の充実など、子育てに関する生活環境の整備を図るとともに、効果的な情報発信を行います。

また、時代に即した学習環境の構築や、児童が安心して学校に通えるよう、安全なまちを目指します。

基本方向と施策展開

①安心してこどもを産み・育てられる環境の整備

第7次青梅市総合長期計画における関連施策

2-1 こども・若者支援の充実	42
2-4 家庭・地域の教育力の向上	48
2-5 結婚・妊娠・出産支援の充実	50
2-6 子育て環境の充実	52

②青梅ならではの教育環境の充実

第7次青梅市総合長期計画における関連施策

2-2 こどもが自ら未来を切り拓く学校教育の充実	44
2-3 地域参画による学校運営の推進	46
3-3 快適な生活環境の確保	60
4-7 防犯・交通安全対策の推進	80
5-2 文化活動の振興	86
5-3 多様な生涯学習の推進	88

関連するSDGs



重要業績評価指標 (KPI)

KPIの名称	現状値	目標値
出生数	令和3年度	令和9年度
	615人	526人

重要業績評価指標 (KPI)

KPIの名称	現状値	目標値
「自分の考えを深めたり、広げたりすることができた」と感じた児童生徒の割合	令和4年度	令和9年度
	小学校：76.5% 中学校：72.1%	小学校：80% 中学校：80%

基本目標 2

青梅に暮らし、働き、訪れる人々にとって魅力あふれるまちを創出

青梅市の特徴的な基盤産業の成長や地場産業の発展を支えるとともに、意欲のある起業家を支援し、地域経済の好循環を目指します。

東京にありながら美しい山と渓谷を有する青梅の魅力を広く発信するため、市民や関係団体と連携したシティプロモーションに取り組み、観光収益の増加を目指すとともに、移住・定住の促進や関係人口の創出につなげます。

基本方向と施策展開

①基盤産業を軸とした経済の好循環

第7次青梅市総合長期計画における関連施策

4-1 都市環境と自然環境が調和した土地利用	68
6-1 基盤産業の振興と地域内企業の活性化	94
6-2 世界に向けた地場産業の振興	96
6-3 商業の活性化による地域内消費の向上	98
6-4 スタートアップの支援と円滑な事業承継の実現	100
6-5 稼げる農林業の推進	102

②美しい山と渓谷などの地域資源を生かした収益の向上

第7次青梅市総合長期計画における関連施策

5-1 歴史・文化の継承・活用	84
6-6 美しい山と渓谷を収益につなげる観光の推進	104
8-3 より伝わる情報発信と開かれた市政の推進	126

③青梅で暮らしたい、訪れたい人を増やす環境整備と情報発信

第7次青梅市総合長期計画における関連施策

4-2 みどりを生かした快適な都市環境の整備	70
6-6 美しい山と渓谷を収益につなげる観光の推進	104
8-3 より伝わる情報発信と開かれた市政の推進	126

関連するSDGs



重要業績評価指標 (KPI)

KPIの名称	現状値	目標値
創業支援を受け市内で創業した創業者数	令和3年度	令和9年度
	49人	60人

重要業績評価指標 (KPI)

KPIの名称	現状値	目標値
延べ宿泊者数	令和2年度	令和9年度
	14,070人	18,000人

※RESAS（地域経済分析システムより）

重要業績評価指標 (KPI)

KPIの名称	現状値	目標値
移住相談や移住者に対する補助制度等を通じて移住してきた世帯数	令和4年度（直近まで）	令和9年度
	10件	40件

基本目標 3

将来を見据えた、安全・安心なまちづくりを推進

公共交通の整備や公共施設の適正管理など、本市の重要課題について、民間企業などとの連携により、柔軟な発想による課題解決を図ります。

自治体DXを推進し、デジタル化により市民サービスの更なる向上を図ります。

健康づくりや、防犯、防災の取組など、地域の内外と必要な連携を広げ、互いに支え合い、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

基本方向と施策展開

①快適な都市機能の実現

第7次青梅市総合長期計画における関連施策

4-1 都市環境と自然環境が調和した土地利用	68
4-3 多様な公共交通網	72
7-2 多様な主体による協働・共創の推進	110
8-1 自治体DX・情報化の推進	122
8-2 質の高い行政サービスの提供	124
8-4 健全で安定的な財政運営	128

②地域内・地域間の連携促進

第7次青梅市総合長期計画における関連施策

1-4 高齢者福祉の充実	36
4-2 みどりを生かした快適な都市環境の整備	70
4-6 消防体制・防災対策の強化	78
4-7 防犯・交通安全対策の推進	80
7-1 様々な地域コミュニティ活動の活性化支援	108
7-2 多様な主体による協働・共創の推進	110
7-6 国内外における交流活動の推進	118

関連するSDGs



重要業績評価指標 (KPI)

KPIの名称	現状値	目標値
マイナンバーカードを活用したサービス利用率※	令和3年度	令和9年度
	12.5%	50%

※証明書コンビニ交付により取得可能な証明書類に関する、全手続件数の内、コンビニ交付件数の割合

重要業績評価指標 (KPI)

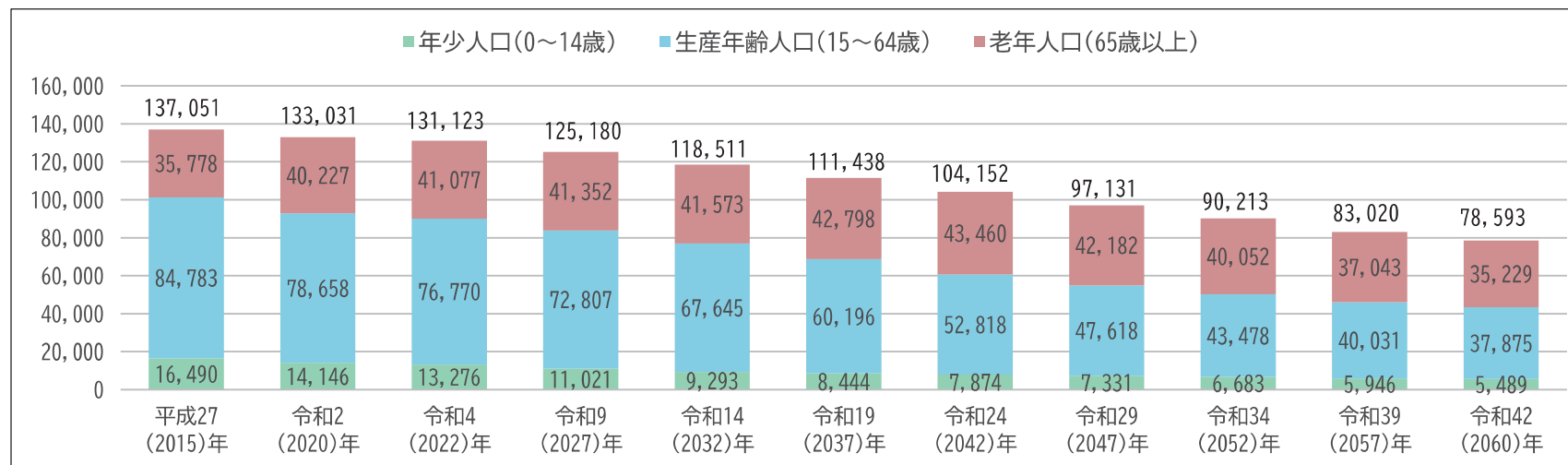
KPIの名称	現状値	目標値
介護予防教室の受講人数	令和3年度	令和5年度
	延べ759人	延べ1,200人

※第8期青梅市介護保険事業計画に掲げる目標値および目標年次

第9期青梅市介護保険事業計画の策定後に合わせて、目標値および目標年次を修正予定

○人口推計・将来展望

青梅市の人口推計



青梅市の将来展望

